

環境調査結果のお知らせ

平成27年6月8日午前9時半から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温22～24℃、塩分29～31、溶存酸素量1～12mg/lで中学校前から大鹿で貧酸素水塊が認められました。

透明度は2～3mで、有害種のカレニア・ミキモトイ、シャットネラ属、シュードシャットネラ・ベルクローサ、ケラチウム属が増殖していました。

水温と塩分(表1・2)

水温21.7～23.9℃、塩分28.7～31.1でした。

前回調査時(H27.6.1)と比較して、水温は表層から2m層で1.3～1.7℃低下し、5m層から底層で0.2～1.0℃上昇していました。塩分は表層から10m層で0.1～0.9低下し、底層で0.1上昇していました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は0.6～11.5mg/lでした。

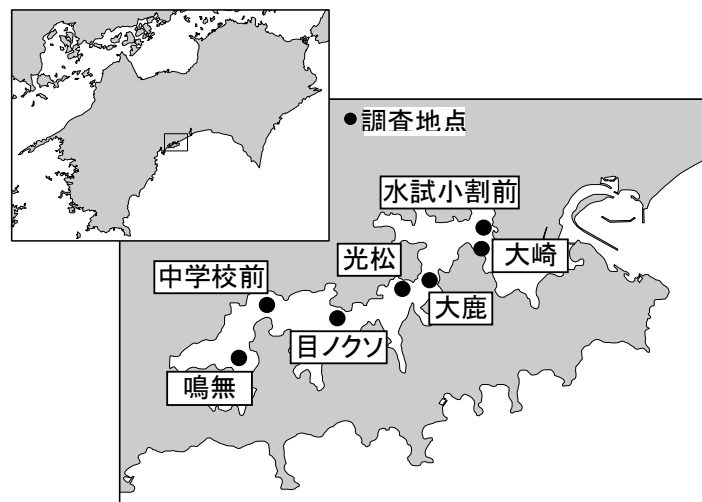
前回調査時と比較して、表層から2m層で0.1～2.7mg/l減少し、5m層から底層で0.3～1.6mg/l増加していました。また、中学校前から目ノクソの10m層と底層、光松から大鹿の底層で貧酸素状態となっていました。

透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は2.1～2.8mでした。検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で1,050cells/ml、シャットネラ属が最高で90cells/ml、シュードシャットネラ・ベルクローサが最高で8cells/ml、ケラチウム属が最高で20cells/ml確認されました。

カレニアについては、鳴無と目ノクソの各2m層で被害が想定される細胞密度に達しています。シャットネラについては、鳴無の2m層と5m層、中学校前の表層と2m層で被害が想定される細胞密度に達しています。両種は今後さらに増殖する危険性がありますので慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・シュードシャットネラ・ベルクローサ: 500～1,000cells/ml(魚類等のへい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml(餌食いの悪化)

環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H27.6.1)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	23.1	23.4	23.1	22.9	22.4	23.2	24.9	▲ 1.7
2m	23.9	23.3	22.7	22.6	22.5	22.9	24.2	▲ 1.3
5m	22.7	22.7	22.4	22.4	22.3	22.5	22.3	0.2
10m	22.4	22.4	22.3	22.3	-	22.3	21.5	0.8
B-1m	22.0	21.7	21.8	21.8	22.3	21.7	20.7	1.0

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H27.6.1)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	28.7	29.1	29.5	29.3	30.0	29.3	30.2	▲ 0.9
2m	30.1	30.4	30.2	30.3	30.3	30.3	30.5	▲ 0.2
5m	30.8	30.8	30.6	30.6	30.8	30.7	31.0	▲ 0.4
10m	31.1	31.0	30.9	30.9	-	30.9	31.0	▲ 0.1
B-1m	31.1	31.1	31.1	31.1	30.9	31.1	31.0	0.1

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H27.6.1)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	11.5	10.2	9.4	9.5	7.6	9.7	9.8	▲ 0.1
2m	11.2	9.3	7.6	7.6	7.4	8.2	10.9	▲ 2.7
5m	5.9	5.4	6.2	6.1	5.3	5.9	5.1	0.8
10m	2.0	3.3	4.0	4.4	-	3.9	2.3	1.6
B-1m	0.6	0.7	0.9	0.8	4.3	0.8	0.5	0.3

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	13.5	16.2	17.7	17.6	10.0
透明度	2.1	2.2	2.4	2.5	2.8
前回(4/24)	3.2	3.1	3.0	2.7	3.6

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	シュードシャット ネラ・ベルク ローサ	ケラチウム属 (C.フルカ、C.フス ス)	珪藻類	
中学校前	0m	12	26	6	3	19,200	
	2m	40	15	2	20	13,000	
	5m	213	4	3	6	3,500	
目ノクソ	0m	62	7	4	14	8,900	
	2m	1,050	3	1	6	8,500	
	5m	80	2	1	4	2,400	
光松	0m	80	0	4	7	11,200	
	2m	200	1	1	4	6,400	
	5m	11	0	0	3	5,300	
大鹿	0m	38	1	4	6	9,900	
	2m	27	0	3	5	4,900	
	5m	0	0	2	2	3,000	
水試小割前	0m	9	0	2	5	2,200	
	2m	45	0	8	4	2,900	
	5m	3	0	0	1	1,400	
鳴無	0m	19	2	5	3		
	2m	550	70	0	10		
	5m	260	90	0	2		
大崎	0m	31	0	2	3		
	2m	5	0	2	2		
	5m	1	0	0	2		